

vol.

Governor's

Monthly Communication

2026.01.01

Rotary International District 2690

2025-26

2025-26年度
国際ロータリー会長 フランチェスコ・アレツツォ

国際ロータリー第2690地区(鳥取・島根・岡山)
2025-26年度地区ガバナー 坂口 元昭



橋本興家「朝富士」

職業奉仕月間に寄せて	02
2025-26年度ロータリー米山記念奨学生報告	03
2025-26年度ロータリー財団地区補助金奨学生報告	04
2025世界ポリオデーフォトコンテストエントリー	05
地区だより	06
国際ロータリーおよび第2690地区 報告・送金等の主要事務	07
出席報告	08



職業奉仕月間に寄せて

地区ガバナー

坂口 元昭



新年あけましておめでとうございます。各クラブの皆さまには、旧年中の温かいご支援と積極的な奉仕活動に心より感謝申し上げます。2026年が、皆さま一人ひとりにとって飛躍の一年となりますよう、心よりお祈りいたします。

さて、1月は「職業奉仕月間」です。ロータリーにおける職業奉仕は、単なる「仕事上の倫理」を語るだけのものではありません。自らの専門性を社会のために活かし、正しい行いを実践し、信頼される存在として地域に貢献する。その姿勢こそが、ロータリーが世界に誇る価値です。

私たちは、仕事を通じて社会とつながり、日々の行動によって周囲に影響を与えています。だからこそ、職業奉仕は「ロータリアンである前に、一人の職業人としてどうあるべきか」を問う、極めて本質的なテーマです。

ロータリーは創立以来、「職業を通じての奉仕」を根幹に据えてきました。創始者ポール・ハリスが仲間と築いたクラブは、まさに異なる職業人が互いの専門性を尊重し、信頼を育て合う場でした。そこから生まれた「信義と高潔さ」の精神は、今日に至るまで揺らぐことのないロータリーの基盤です。

現代は、かつてよりも価値観が多様化し、判断のスピードも求められる時代です。しかし、だからこそ私たちが守るべき原則は明確です。「正しいことを、正しく行う」。そしてその姿を示すことで、地域に安心と希望を届けていくことです。

今年度、皆さんにお伝えしているメッセージ、「**よいことのために手を取り合おう**」は、この職業奉仕の精神と深く結びついています。

一人一人が誠実に働き、自分の専門性を惜しみな

く差し出し、仲間と力を合わせることで、地域により良い変化が生まれます。よいことのために、分野を越えて手を取り合う。その姿こそ、私たちが社会に示すべきロータリアンの誇りです。

クラブに目を向ければ、会員それぞれの経験や技術、人的ネットワークはかけがえのない宝です。卓話や委員会活動の中で「自分の職業をどのようにクラブの力に変えられるか」を語り合うことこそ、職業奉仕の第一歩です。そうした積み重ねがクラブの存在価値を高め、奉仕の質を力強く押し上げます。

また、地域社会は今、人口減少・人手不足・産業構造の変化など多くの課題に直面しています。この状況にこそ、私たち職業人の経験と知見が求められています。未来の働き方を若い世代に伝えるキャリア教育、地域事業者の挑戦を支える専門的支援、高齢者や弱者を支える福祉・医療分野のサービスなど、ロータリアンだからこそ応えられるニーズは数えきれません。

どうか皆さまの職業が、地域の未来にどのような希望をもたらせるのか、仲間とともに改めて考えてみてください。そこに、クラブとして取り組む新たな奉仕の種が必ず見えてきます。

私自身、この半年間で多くのクラブを訪問し、真摯に仕事に向き合う皆さまの姿に触れてきました。誠実さ、責任感、そして他者を思う気持ち、そのひとつひとつが、職業奉仕の精神そのものです。そして、その積み重ねこそが「よいことのために手を取り合う」ロータリーを形づくっています。

職業奉仕月間が、皆さまのクラブに新たな気づきと前向きな議論をもたらすことを深く願っています。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

2025-26年度 ロータリー米山記念奨学生報告

2024-25年度第11グループガバナー補佐

福嶋 裕美子



11月24日、新宿住友ビル三角広場にて開催された「Mrs & Mr of the 2025 JAPAN FINAL」に、岡山西ロータリークラブ所属ローターアクトクラブ会員であり、今年度・来年度米山奨学生であるスリランカ出身のサハン・ヒロシ君が出場いたしました。カウンセラーは私が担当しております。

「Mrs & Mr Contest」は、年齢・国籍を問わず、人柄・社会貢献性・表現力などを総合的に評価するコンテストで、外見だけでなく“生き方”そのものを競うことを目的とした国際色豊かな大会です。サハン君は岡山大会で優勝し、日本全国の代表が集うFINALへの出場権を獲得しました。

サハン君は1年生の頃から岡山西ロータリークラブのローターアクトクラブに所属し、常に積極的に奉仕活動へ参加してきました。特に2024年、私が会長を務めた年度に、岡山西ロータリークラブとローターアクトクラブが共同で実施した国際支援プロジェクト「DWCS」(スリランカ・イッダマルゴダ小中高一貫教育学校支援)においては中心的役割を担いました。

同校は山の麓にある井戸から水を汲み上げる必要があり、衛生環境や教育環境の改善が急務でした。そこで井戸から水をくみ上げ校舎まで水が届くようにする水道整備工事、ならびに校舎の壁の設置工事を実施し、そのドネーションを岡山西ロータリークラブとローターアクトが共同で行いました。ロータリークラブとローターアクトクラブが一体となり海外支援を行う取組みは全国的にも珍しく、その意義が評価され当時の『ロータリーの友』では2ページにわたり活動が紹介されました。さらに、ヤングジェネレーション特集や昨年12月号にもサハン君は取り上げられ、その活動は高く評価されています。

今回のJAPAN FINALでは、サハン君は堂々とした立ち居振る舞いで、審査員・観客の心に響くスピーチを披露しました。その凛とした姿をステージで目にし、カウンセラーとして大変誇らしく感じました。彼は必ず、将来日本とスリランカの架け橋となる素晴らしい人材へと成長していくことでしょう。



2025-26年度ロータリー財団地区 補助金奨学生報告 (第1回)

ロータリー財団地区補助金奨学生

小板橋 有香

1. 学業面での成果

今学期は大学院の授業を3科目履修し、9単位の取得を目指して学習に励んでいます。科目数は多くありませんが、1つの授業が2時間半と長く、事前準備として多くの文献読解と課題に取り組まなければならないため、寮・社会学部校舎・図書館の三拠点を往復する忙しい日々です。週末も含めて勉強を続けているものの、時間が足りず睡眠不足になることもあります。

秋学期は修士課程の必修科目3科目のうち2科目(古典社会学理論、質的研究セミナー)を優先して登録しました。さらに、専門科目として「社会学最新課題(プロセミナー)」も履修しています。このうち古典社会学理論の授業は厳しいことで知られており、マルクス、ウェーバー、デュルケム、デュボイスなどの理論は哲学的で難解です。現地学生にとっても難しい授業のため、留学生がAを取るのには困難と言われており、まずはBでの合格を目指しています。

授業は全て英語で行われるため、想像以上に苦戦しています。今年入学した社会学部の大学院生11名のうち、留学生は私と中国人留学生2名(うち1名は米国大学出身)のみです。教授の話は理解できるものの、学生同士のディスカッションはネイティブ同士の非常に速いスピードで進むため、内容を完全に理解できないこともあります。そのため、多少ずれていても発言できる内容を探して積極的に手を挙げ、毎回必ず発言するよう心がけています。また、授業開始時に録音許可を得られたことは大変心強い助けになっています。

英語力向上のため、以下の取り組みも行っています。

- 教授のオフィシアワーに積極的に参加し、英語を使って質問や相談を行うことで語学力向上と教授との信頼関係構築を図っていること。
 - 大学院生が担当するライティングセンターや、週1回のスピーキング指導などの無料リソースを積極的に活用していること。
- 入学前にIELTS 7.0を取得し、英語科目が免除されたことは幸いでしたが、現地で深い学びを得るため、引き続き英語運用能力の向上に努めています。

2. 受入地区ロータリーとの関わり、奉仕活動、 カウンセラーとの交流

ハワイ到着の3日前、The Rotary Club of Honolulu Sunriseからホストロータリーを引き受けて下さる旨の連絡を受けました。代表のDavid Mozdren氏は、到着時に空港まで迎えに行きたいと言って下さるなど、大変親切に対応して下さいました。最終的に大学の担当教授が迎えに来て下さることになったため辞退しましたが、到着1週間後には歓迎会を開催して下さい、心から感激いたしました。メンバーの中には親日家の方も多く、日本を訪問した経験のある方もいらっしゃいます。鳥取県を訪れた経験を持つ方もおられ、境港との相互訪問にも興味を示して下さいました。

ホノルルでは温暖な気候を求めて移住する人が多く、ホームレスの増加が深刻な社会問題になっていると聞きました。デビッド氏の案内で「カハウイキ・ビレッジ」という低所得世帯向け住宅地のそばを通った際、The Rotary Club of Honolulu Sunriseが継続的に支援活動を行っていることを教えて下さいました。この住宅は、東日本大震災の時の福島県の津波被災時に使用された仮設住宅を再利用して建設されたも

ので、非営利団体がその運営に携わっているとのことでした。

定例会(毎週月曜7:15~)にも参加したいと考えていましたが、今学期は月曜日に必修授業が午前・午後ともに入っており、出席が難しい状況でした。ただ、11月3日(月)の午前授業がフィールドワークで時間に余裕が生じたため、この日の定例会に初めて参加することができました。

当日は、冒頭と終了時にベルが鳴らされ、日本の境港ロータリークラブで経験した進行形式と同じであったことに親しみと嬉しさを感じました。また、会の中で The Four-Way Test を唱和する場面があり、ロータリーの基本理念をメンバーの皆さんが大切にされている様子に深い感銘を受けました。日本のロータリーでも馴染みのある理念であり、ハワイでも同じ言葉を聞くことができたことに、強い連帯感を覚えました。また、会場には世界各国のロータリークラブから贈られた多くのバナーが整然と飾られており、国際色豊かなクラブであることを強く感じました。日本から持参した境港ロータリークラブのバナーも、最初の歓迎会の際に皆さまにご紹介することができ、嬉しく思いました。

さらに、この日はハワイ州全体を統括する地区ガバナーの女性が出席していて、ロータリーで女性が活躍している姿を目の当たりにしました。また、The Rotary Club of Honolulu Sunriseの会員39名のうち半数近くが女性であることを伺い、女性会員1名のみである境港ロータリークラブの状況をお伝えしたところ、ハワイのメンバーの皆さんが大変驚いていました。

例会の中では、寄付を行う会員が前に出てルーレットを回し、結果に応じて表彰ポイントが付与される場面を実際に見ることができました。この活動は特別企画ではなく、クラブが普段から継続的に行っている伝統的な寄付促進活動であり、この表彰ポイントはPHF(Paul Harris Fellow)認定の累計額に加算されるものだとのこと。デビッド氏は「より多くの寄付を集めるための私たちのクラブの伝統です」と説明して下さい、寄付を活性化する独自の取り組みとして大変ユニークなものだと感じました。

この日は私が初めて例会に参加したこともあり、自己紹介をさせて頂く機会を頂戴しました。皆さまの前で日本から来た経緯や大学院での学びについてお話ししたところ、会の終了後に、テレビ局に長く勤務されていたという男性と女性のお2人が私のところに話しかけて下さいました。お2人ともアメリカ本土から移住された方で、特に女性の方は40年間番組ディレクターとして活躍されていたとのこと、大変刺激を受けました。

3. 直面した課題、問題点等

渡航前の最大の課題はVISA取得が難航したことです。トランプ政権下の影響により、VISA面談予約が一時停止し、再開後も予約枠が確保



できず、秋学期に間に合わない可能性が生まれました。大学からも「遅くとも9月第2週までに到着できなければ春学期開始になる」と告げられ、不安が高まりました。

入学後は、大学院生同士の交流機会が少なく、特に最初の1か月は寮で孤独を感じることもありました。そのため、学生と教授が自主的に運営するライティンググループや、日本人PhD学生によるフェミニズム読書会に参加しています。そのほか、Public English School for Adultsに週3回朝通っています。ここは、政府が移民のために補助金を出しているとのことで、1セメスター(3か月)たった20ドルで良質な授業を受けることができる情報を入手しました。ここには韓国人や中国人などアジア人はもちろん(日本人は意外と少ない)、スペイン人、ロシア人、アルジェリア人など様々な人が通っているので、少人数制でのディスカッションを通じて語学力と交友関係の拡大に努めています。また、キャンパス近くの教会が提供する大学生向け無料ディナーにもクラスメイトと参加し、少しずつ人間関係が広がってきています。

4. 今後の課題、目標

ハワイは想像していた以上に多様な移民が暮らすと共に、移民に対して非常に寛容な土壌であると肌で感じます。また、多くの日系アメリカ人が生活していることを実感し、彼らの価値観や歴史的背景に強い関心を抱くようになりました。日本語を話さなくても日本の姓を名乗る人、外見に日本人的特徴がなくても遠いルーツに日本の祖先がいるなど、多様な形で日本とのつながりを持つ人々に出会い、日系人についてもっと深く知りたいと思うようになりました。また、移住した日本人や日本人留学生に対して、ハワイの人々が温かくリスペクトを示して下さる場面も多く、日本人として誇りを感じる機会が少なくありません。

こうした経験から、今後の研究では、日本に住む日本人、移住者としての日本人、留学生、日系人の価値観を比較する視点を取り入れていきたいと考えています。授業課題としてインタビュー調査を行うことに

なっており、日系5世で純粋な日本人の血筋を持つロータリーメンバーの女性に1時間のインタビューを行いました。彼女は経営者として活躍し、2度の離婚を経験しながら2人の子どもを育て上げた方で、その語りは非常に興味深いものでした。インタビューはまだ継続中であり、次の報告書で詳細をお伝えしたいと考えています。

さらに、ロータリー奨学生としての活動を広く知っていただくことも自分の務めであると考え、Facebookのプロフィールには奨学生である旨をすでに記載いたしました。今後は、可能な範囲でハワイでの学びや活動の様子を少しずつ発信し、支援してくださっている皆さまや次世代の奨学生候補にも役立つ情報を共有していきたいと思っています。



2025世界ポリオデーフォトコンテストに エントリーし、受賞いたしました

松江南ロータリークラブ
レガッタ同好会 総監督

古志 勝俊



「松江市民レガッタから END POLIO NOW を叫ぶ！」

「松江市民レガッタ」が2025年9月20日(土)・21日(日)の2日間にわたり開催されました。

松江南ロータリークラブからは、選手・応援団あわせて20名が“END POLIO NOW”のTシャツを着用して参加。

「ガッツロータリー1」「ガッツロータリー2」の2クルーで出場しました。

今年の会場は大橋川ではなく、美保関運動公園万原コース(350m)。

新大橋の架け替えや治水工事の影響で、美保関での開催となりました。

当日は曇天ながら風も穏やかで、まさにボート日和。

総監督として私は、松江南RCに多い転勤族の会員の皆さんに「一度は漕いで、このまちの風景を心に刻んでほしい」という思いでクルーを編成しました。

オールを握り、中海に浮かぶ大山を望みながら、仲間と息を合わせて漕ぐ――。

その爽やかな疲労感をみんなで分かち合いながら、私たちは声を上げました。



地区だより(2025年11月)

新会員のご紹介



ロータリー財団への寄付

ポール・ハリス・ソサエティ



河合恭廣
井原RC

ポール・ハリス・フェロー(年次基金への寄付)



ポリオ・プラス・ソサエティ登録者

米子RC 籾 弘信
米子RC 八幡 康久
松江RC 山崎 徹
松江RC 後藤 勇
松江RC 友塚 順子
松江東RC 諏訪 文哉
倉敷東RC 遠藤 堯之
真庭RC 豆原 義重

メモリアルコントリビューター

大社RC 山根 俊二
(母・山根義江のため)

クラブ年次基金

倉吉東RC 11.00ドル(新会員寄付)
倉吉東RC 48.00ドル(会員1人1ドル寄付48人分)
境港RC 3012.99ドル(ミリオンダラーミール)
松江南RC 272.73ドル(ミリオンダラーミール)
笠岡RC 161.14ドル(ミリオンダラーミール)
倉敷南RC 181.17ドル(ミリオンダラーミール)
倉敷南RC 779.22ドル(ロータリー財団月間特別寄付)
岡山北西RC 72.75ドル(1ドル寄付 10ドル寄付)

クラブポリオプラス

倉吉東RC 107.14ドル(ガバナー訪問時の100万ドル食事 寄付)
鳥取RC 66.00ドル
鳥取中央RC 66.00ドル
鳥取北RC 66.00ドル
鳥取西RC 66.00ドル
境港RC 525.97ドル
松江しんじ湖RC 400.00ドル
出雲中央RC 381.82ドル(ランチ)
浜田RC 350.64ドル

益田RC 67.99ドル
新見RC 167.12ドル
玉島RC 495.22ドル(ポリオ根絶街頭募金活動)
倉敷RC 273.47ドル
倉敷中央RC 51.72ドル
倉敷水島RC 51.72ドル(3クラブ合同ポリオ募金活動より)
倉敷瀬戸内RC 44.87ドル
岡山北西RC 131.55ドル
おかやま山陽高等学校インターアクトクラブ... 204.62ドル

法人寄付

松江東RC (株) 帝国データバンク (130.00ドル)
 松江南RC (株) 松江エクセルホテル東急 (149.35ドル)
 松江南RC 東京海上日動火災保険(株)山陰支店 (149.35ドル)
 松江南RC 明治安田生命保険(相) 松江支社 (149.35ドル)
 松江南RC ALSOK山陰(株) (149.35ドル)
 松江南RC (株) JTB山陰支店 (149.35ドル)

松江南RC (株) テクノプロジェクト (149.35ドル)
 松江南RC 鹿島建設(株) 中国支店山陰営業所 (149.35ドル)
 松江南RC 第一生命保険(株) 島根支社 (149.35ドル)
 松江南RC 損害保険ジャパン(株) 山陰支店 (149.35ドル)
 松江南RC 山陰中央テレビジョン放送(株) (149.35ドル)

米山記念奨学会への寄付

米山功労者



クラブ普通寄付

倉吉RC 97,500円
 岡山北RC 257,500円

クラブ特別寄付

鳥取RC 18,920円(ランチ)
 倉敷RC 49,000円(米山ボックス)
 岡山西南RC 72,174円(ランチ)
 岡山西南RC 81,475円(米山ボックス)

法人特別寄付

松江RC (株) ネスター (500,000円)
 松江東RC 山陰三菱電機機器販売(株) (10,000円)
 松江東RC (株) 中西屋 (10,000円)
 松江東RC (株) 帝国データバンク (10,000円)
 松江東RC 一畑バス(株) (10,000円)
 松江東RC (有) 太陽平坂 (10,000円)
 松江東RC セコム山陰(株) (10,000円)
 松江東RC かわたに薬局 (10,000円)
 松江東RC (株) 鳥取銀行 (10,000円)
 松江東RC (株) えすみ (10,000円)

訃報

謹んで哀悼の意を表し、
 ご冥福をお祈りします。



浮田佐平 (津山RC)
 ご逝去日/2025年11月27日
 享年/94
 入会日/1969年1月1日



末吉周平 (岡山西南RC)
 ご逝去日/2025年11月14日
 享年/89
 入会日/1978年3月3日

国際ロータリーおよび第2690地区 報告・送金等の主要事務

事 項		金 額 等	基準日	納付期限	報 告 先	送 金 先
国際ロータリー	①RIへの人頭分担金	41ドル/人・半期	2026年 1月1日	クラブ請求書 から 120日以内	国際ロータリー 日本事務局 経理室	三井住友銀行 新宿通支店 普通預金 6733244 国際ロータリー日本事務局
	②Rotary誌購読料(希望者)	18ドル(冊子)/人・半期 9ドル(電子版)/人・半期				
	③ローターアクトクラブ人頭分担金	大学基盤 5ドル/人 地域基盤 8ドル/人				
	④ロータリー財団への寄付			随時		
奨学金米山記念 会	ロータリー米山記念奨学会への 普通寄付	クラブで定めた金額	2026年 1月1日	2026年 1月31日	(公財)ロータリー 米山記念奨学会	三井住友銀行 京橋支店 普通預金 0920373 (公財)ロータリー米山記念奨学会
ロータリー の友	「ロータリーの友」購読料	1,650円/人・半期 (1部 定価275円)	2026年 1月1日	領収書 受領後 速やかに	一般社団法人 ロータリーの友 事務所	三井住友銀行 浜松町支店 普通預金 7450015 一般社団法人ロータリーの友事務所
第2690地区	①地区資金	6,250円/人・半期	2026年 1月1日	2026年 2月2日	RI第2690地区 ガバナー事務所	山陰合同銀行 米子支店 普通預金 4567808 国際ロータリー第2690地区 地区会計長 鶴田和彦
	②日本ロータリー連絡委員会分担金	200円/人・半期				
	③地区青少年交換資金	850円/人・半期				
	④地区青少年奉仕資金	1,000円/人・半期				
	⑤地区世界社会奉仕資金	450円/人・半期				
	⑥地区広報資金(※2)	1,000円/人・半期				
	⑦規定審議会出席積立金	50円/人・半期				
	⑧地区ロータリー財団事務所資金	650円/人・半期				
その他	入会者・退会者の変更事項		発生から30日以内にMy Rotaryからの報告が必要			

※1 会員数は2026年1月1日現在のクラブ会員数でお願いします。 ※2 地区広報資金にガバナー月信購読料が含まれています。

出席報告 (2025年11月)

クラブ名		ホームクラブ 出席率 (%)	例会数	会 員 数			
				7月1日	11月末日	内女性会員	増減
第1グループ	智 頭	77.42	4	7	8	0	1
	倉 吉	77.31	3	39	41	3	2
	倉 吉 中 央	52.78	4	18	18	2	0
	倉 吉 東	68.12	3	48	48	5	0
	鳥 取	67.89	2	55	56	4	1
	鳥 取 中 央	66.28	2	40	43	3	3
	鳥 取 北	69.49	3	41	42	7	1
	鳥 取 西	71.61	3	51	52	2	1
	小計（8）	-	-	299	308	26	9
第2グループ	境 港	60.74	3	48	49	1	1
	米 子	57.75	2	69	71	5	2
	米 子 中 央	70.00	2	37	38	2	1
	米 子 東	80.31	3	109	110	12	1
	米 子 南	60.74	2	70	80	7	10
	小計（5）	-	-	333	348	27	15
第3グループ	松 江	78.79	3	55	58	1	3
	衛星クラブ	50.00	2	10	10	5	0
	松 江 東	70.53	2	51	51	3	0
	松 江 南	76.47	2	63	65	6	2
	松江しんじ湖	76.92	2	40	44	9	4
	隠 岐 西 郷	66.67	3	22	21	0	▲1
	小計（5）	-	-	241	249	24	8
第4グループ	平 田	69.30	3	38	38	2	0
	出 雲	71.82	2	55	56	2	1
	出 雲 中 央	79.59	2	48	49	3	1
	出 雲 南	49.33	3	77	80	6	3
	大 社	55.94	3	53	52	5	▲1
	小計（5）	-	-	271	275	18	4
第5グループ	江 津	65.88	4	42	45	3	3
	浜 田	66.25	4	59	61	5	2
	益 田	59.52	2	21	21	2	0
	益 田 西	73.74	3	33	33	2	0
	大 田	66.67	3	23	23	3	0
	小計（5）	-	-	178	183	15	5
第6グループ	井 原	82.84	4	35	37	2	2
	笠 岡	86.56	4	47	47	3	0
	笠 岡 東	82.31	4	39	39	2	0
	新 見	63.16	2	18	19	2	1
	総 社	75.00	2	12	12	2	0
	総社吉備路	69.23	2	28	27	1	▲1
	高 梁	71.43	2	34	35	1	1
	玉 島	77.45	4	28	30	6	2
小計（8）	-	-	241	246	19	5	

クラブ名		ホームクラブ 出席率 (%)	例会数	会 員 数			
				7月1日	11月末日	内女性会員	増減
第7グループ	児 島	77.27	2	12	12	0	0
	児 島 東	94.44	2	9	9	0	0
	倉 敷	73.24	2	71	74	2	3
	倉 敷 中 央	71.43	2	18	18	6	0
	倉 敷 東	80.95	2	24	23	4	▲1
	倉 敷 南	61.38	3	59	60	5	1
	倉 敷 水 島	75.86	2	17	17	0	0
	倉敷瀬戸内	63.41	2	22	22	1	0
小計（8）		-	-	232	235	18	3
第8グループ	真 庭	78.79	3	32	33	2	1
	美 作	73.91	2	25	24	1	▲1
	津 山	54.81	4	96	97	4	1
	津 山 中 央	78.57	2	12	14	3	2
	津 山 西	62.07	2	32	32	5	0
	小計（5）	-	-	197	200	15	3
第9グループ	備 前	56.88	3	38	40	4	2
	岡 山	76.11	4	107	117	7	10
	岡 山 東	81.87	4	96	97	2	1
	岡 山 北 西	76.47	2	48	51	5	3
	岡山後楽園	70.95	3	50	51	4	1
小計（5）		-	-	339	356	22	17
第10グループ	岡 山 旭 川	51.97	4	33	32	1	▲1
	岡 山 中 央	60.58	4	24	27	8	3
	岡 山 北	58.25	2	51	52	5	1
	岡 山 南	66.59	3	152	153	22	1
	玉 野	64.66	4	24	29	2	5
	小計（5）	-	-	284	293	38	9
第11グループ	岡 山 備 南	70.27	2	21	19	0	▲2
	岡 山 城	76.19	3	20	21	1	1
	岡 山 岡 南	78.13	3	23	23	2	0
	岡山丸の内	66.67	3	43	43	3	0
	岡 山 西	71.11	2	64	71	13	7
	岡 山 西 南	85.09	3	55	55	7	0
	小計（6）	-	-	226	232	26	6

地区クラブ内の状況

クラブ数	65RC
2025年7月1日会員数	2841名
2025年11月末日会員数	2925名
内 女性会員	248名
純増	84名

※7月1日会員数には、7月1日入会の新会員は含まれておりません。
 ※7月1日入会の新会員は、7月末日会員数に含めさせていただきました。
 ご了承をお願いいたします。